

子供達の こんな笑顔に 出会いたい

食が伝えるいのちの絆

<日 時> 10月12日(月・体育の日) 10:00~12:00 (受付9:30~)

<場 所> 山形大学農学部 先端教育研究棟 301

山形県鶴岡市若葉町1-23 <http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>

<参加費> 無料(定員100名) スローフード山形 今年度いち押しの講演会です。

講演Ⅰ 佐藤弘 氏 「食卓の向こう側に見えるもの」



いま「食」が揺らいでいます。家庭の食(食卓)、学校の食(給食)、地域の食(食文化)、国の食(食料)…。豊かとされる日本で「孤食」「個食」といった言葉が生まれました。食卓の向こう側に見える風景を通して、食のこと、農業のこと、命のこと、子どものこと、もう一度見つめなおしてみませんか。今日からできる具体的な取り組みもご紹介します。

講演Ⅱ 内田美智子氏 「食卓からの生教育」 ハンカチのご用意を!



助産師になって28年、「これまで2,500人の赤ちゃんを取り上げて来ました。うれしい涙がたっぷりの産院ですが、悲しい、冷たい涙もいっぱいあります。そして食卓の豊かさが、子どもたちをはぐむことに気がつきました。「性」と「生」と「食」はつながっていたのです。性を大切にしようと思えば、生が大切になります。生を大切にすれば食が大切になります。生きることは食べること、食べることは生きることです。

佐藤弘(さとうひろし)氏プロフィール

西日本新聞社 編集委員。中学時代、有吉佐和子の「複合汚染」を読み、ふるさとの野山がおかされていくわけを知る。百姓を志し、東京農大農業拓殖学科に進学するも、深遠なる「農」の世界に触れ、実践者となることを断念。側面から支援する側に回ろうと西日本新聞社に入社。現在、長期連載「食卓の向こう側」を企画担当。著書「農は天地有情」(西日本新聞社)

内田美智子(うちだみちこ)氏 プロフィール

助産師。大分県竹田市生まれ。国立小倉病院附属看護助産師科卒。1988年から産婦人科医の夫と内田産婦人科医院を営みながら、生と死を見つめ続けてきた。福岡県子育てアドバイザー、福岡県社会教育委員。九州を拠点に、「生」「性」「いのち」「食」をテーマに全国で講演活動を展開。子どもの心の育ちの中での食の大切さを伝え続けている。著書に「ここ」「いのちをいただく」(西日本新聞社)等。

<問い合わせ> スローフード山形 <http://www.slowfood-yamagata.jp/>

遠藤 090-9038-5872 / 安藤 090-4635-5613

<主催> スローフード山形 <協力> ホールフード協会・東京「弁当の日」応援団